

東國寺
足利義満が海軍大将の職
を兼ね、南北朝動乱の戦
いの中で、南朝の建立
死者と祈りため建立。
不動明王像は、14世紀頃
の制作とす。

像法寺
境内の宝篋印
塔(経典を納め
た供養塔)は、
元弘3(1332)年に
建造。
富津市指定有形
文化財とす。

宮醬油店
天保5(1834)年創業。
建物の9件が国の登録文化財
店舗は明治25(1892)年築。
美味しい正油とす!!

佐貫城
「亀城」とも
呼ばれ、江戸
時代に修築
した石垣が
残っています。
明治4(1871)
年、廃城。

内藤家長の墓
(1546~1600)
初代の佐貫藩主で、関ヶ原の
戦いで伏見城にて次男
元長と共に戦死。

光明寺
建治2(1276)年創建。
釈迦如来座像は、鎌倉~室町
時代の作。総高は166cm。
脇侍の文殊・普賢菩薩像も
ステキな仏像とす。

円鏡寺
木造阿彌陀如来座像は、
16世紀初頃の制作。
像高88.6cm。中国の宋の仏
像をモデルにした様式
で作られている。

岩谷堂・虚空蔵菩薩
全一本の木から彫り出した
一木造りで、鎌倉時代後期
の作とされる。千葉県指定
有形文化財。

大満横穴群
横穴墓は、6世紀後半~
7世紀の岩に穴を掘って造ら
れたお墓とす。竹畑の奥にあ
るので、早元にご注意し
て下さい。

岩谷堂やぐら群
横穴墓を再利用して造られ
たやぐら群。その形に掘
られた穴は、薄暗くて入る
には勇気がいります!

浦賀水道

佐貫藩のこと

天正 18(1590)年、徳川家康は
関東に入部し、安房の里見氏に備
え佐貫に忠臣内藤家長を2万石で
配置しました。ここに佐貫藩が誕生
します。
慶長 5(1600)年、内藤家長は、鳥
居元忠の副将として京都伏見城に、
兵約2千名と共に籠城し、関ヶ原
合戦の前哨戦がはじまりました。
家康のため捨て石になる覚悟をし
た内藤家長は、三河武士の意地を
見せて西軍約4万を相手に戦い、
壮烈な戦死をしました。
その後の佐貫藩は藩主が何度か
変わり、5代将軍徳川綱吉の側用
人として名高い柳沢吉保も佐貫を
領地にしました。
宝永 7(1710)年、阿部正鎮が藩主
となり、戊辰戦争の騒乱を乗り越え、
明治 4(1871)年の廃藩置県まで
阿部氏の支配が162年続きました

ご乗車ありがとうございます。
千葉みなと駅を出ました南総里見号は
約1時間15分で富津浅間山に到着し
ます。
停留所の東に聳える鬼泪山は、日本武
尊(ヤマトタケルノミコト)の東征の際に
敗れた阿久留王の涙が命名の由来と
いられています。
富津市には、県内でも最大数の770基
以上の横穴墓(6世紀後半~7世紀)
があり、平安時代~中世にかけて造ら
れた仏像や石造物も多く残っています。
里見氏の支配の後、天正18(1590)年
佐貫藩ができ、明治4(1871)年の廃藩
置県まで続きました。
佐貫は、房総往還路の人馬の引継ぎ
場としても栄え、今も城下町の面影を
残しています。
何気ない路地や風景に有名無名の人
々が造った歴史の痕跡を見つける旅に
南総里見号に乗りお出かけ下さい。

葉王寺のオハツキイナヤ
葉の上に実をつけるイナヤの変種。
松平定信が領国から取り寄せ
手植えたものと伝わる。

旧浅川橋梁 橋脚
大正5(1916)に浜金谷まで
開通した国鉄北条線。
大正12(1923)年の関東大震災で
落ちた橋の橋脚とす。

東明寺
養老2(718)年の創建。
薬師如来立像は、平安時代後
期12世紀の作で、かまの一本
造り。優美な姿の仏像
とす。

南総里見号

で行く バスの旅

富津浅間山編